

仙北市における「3 者連携協定の取組み」 滞在型観光拡大を目指した宿泊施設の開業が 2020 年 3 月 16 日（月）に決定

秋田県仙北市、DMO 候補法人 一般社団法人田沢湖・角館観光協会と東日本旅客鉄道株式会社秋田支社は、仙北市における観光需要の更なる創出を推進するため「観光まちづくり」に関する連携協定を 2019 年 5 月 7 日に締結しました。

このたび、同連携協定の取組みとして東日本旅客鉄道株式会社秋田支社が、仙北市所有の「あきた角館 西宮家」の 2 つの蔵と、仙北市角館伝統的建造物群保存地区に近接する飲食店の蔵を改装し、計 3 施設を同一ブランドによる宿泊施設として 2020 年 3 月 16 日（月）に開業することとなりました。

ご宿泊の予約受付は 2019 年 11 月 18 日（月）10:00 より開始いたします。

この取組みを通じて角館エリアの観光需要創出を目指した滞在型観光の拡大につなげていきます。

■事業主体

東日本旅客鉄道株式会社 ※運営会社：JR 東日本グループの「秋田ステーションビル株式会社」

■宿泊施設コンセプト

「KURA STAY」

蔵の使用背景に関連した「営みが保存された蔵」で当時の暮らしを体験できます。

一歩中に足を踏み入ると、当時の生活風景にタイムスリップしたかのような感覚をお楽しみいただけます。

■施設名称

「和のゐ 角館」

「歴史ある日本の文化・暮らしを体験する宿」を意味し、暮らしを表す「居」を日本古来の文字である変体仮名の「ゐ」を用いることで、歴史性を表現しています。



■各蔵の概要

1 「西宮家武士蔵」(西宮家 旧 前蔵)

- ・所 在 秋田県仙北市角館町田町上丁 11-1
- ・建 設 1919 年(大正 8 年)
- ・延床面積 約 150 m² (木造 2 階建て)
- ・定 員 6 名
- ・特 徴

角館のもう一つの武家屋敷通りである「田町武家屋敷通り」にある「西宮家」の先祖は高名な武士であり、その時代に畏敬の念を抱き、蔵の空間は、武士の文化や暮らしなど往時の営みを感じることができます。また、実際に触れられる武士の道具も設え、時代を越境する体験をお楽しみいただけます。



2 「西宮家ガッコ蔵」(西宮家 旧 ガッコ蔵)

- ・所 在 秋田県仙北市角館町田町上丁 11-1
- ・建 設 1919 年 (大正 8 年)
- ・延床面積 約 101 m² (木造 2 階建て)
- ・定 員 4 名
- ・特 徴

ガッコ(漬物)を貯蔵するのに使用されていた蔵の歴史を大切に、漬物にまつわる道具等を空間デザインのアイテムやモチーフとして展開し、食体験もお楽しみいただけます。浴槽も漬物樽をモチーフにしたもので、春には浴室にしながら桜を鑑賞することができます。



ガッコ蔵 浴室 イメージ

3 「反物蔵」(旧 飲食店 しちべえ)

- ・所 在 秋田県仙北市角館町横町 15
- ・建 設 江戸時代末期
- ・延床面積 約 186 m² (木造 2 階建て)
- ・定 員 6 名
- ・特 徴

武家屋敷通りのすぐ手前という恵まれた立地にあり、元々、反物屋であったと伝達されている歴史に着目し、反物や道具がインテリアとしてディスプレイされたユニークな空間をお楽しみいただけます。また、室内では自由に着物を羽織ることができ、旅の記念に残る体験ができます。



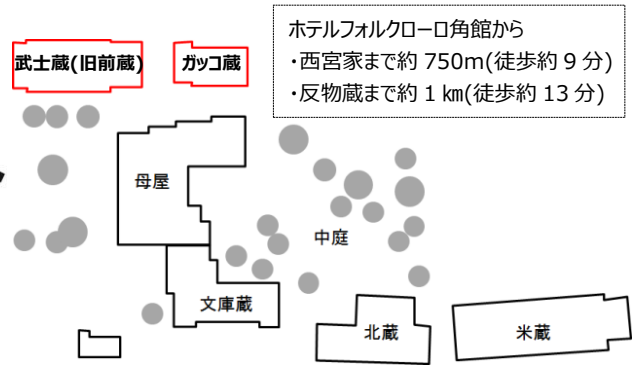
反物蔵 囲炉裏スペース イメージ

■ アクセス

本ホテルのチェックインは、JR 角館駅に隣接する「ホテルfolkローロ角館」にて行います。各蔵までは徒歩圏内で、散策をしながら訪れることができます。なお、ご希望の方はホテルfolkローロ角館から各蔵まで車による送迎を行います。



アクセスマップ



西宮家内マップ

ホテルfolkローロ角館から
・西宮家まで約 750m(徒歩約 9 分)
・反物蔵まで約 1 km(徒歩約 13 分)

■ 「あきた角館 西宮家」について

西宮家の先祖は慶長 7 年(1602 年)に秋田へ移り、現在の田町武家屋敷通りがある田町に居住し、秋田佐竹本家の直臣でした。

明治に入ると子孫が初代角館町長を務め、明治後期から大正時代にかけては地主として最も繁栄し、その時代に 5 棟の蔵と母屋を建てました。

現在は、文庫蔵では西宮家の歴史に触れられ、北蔵での飲食、米蔵でのお土産の購入もお楽しみいただけます。



■ 予約受付

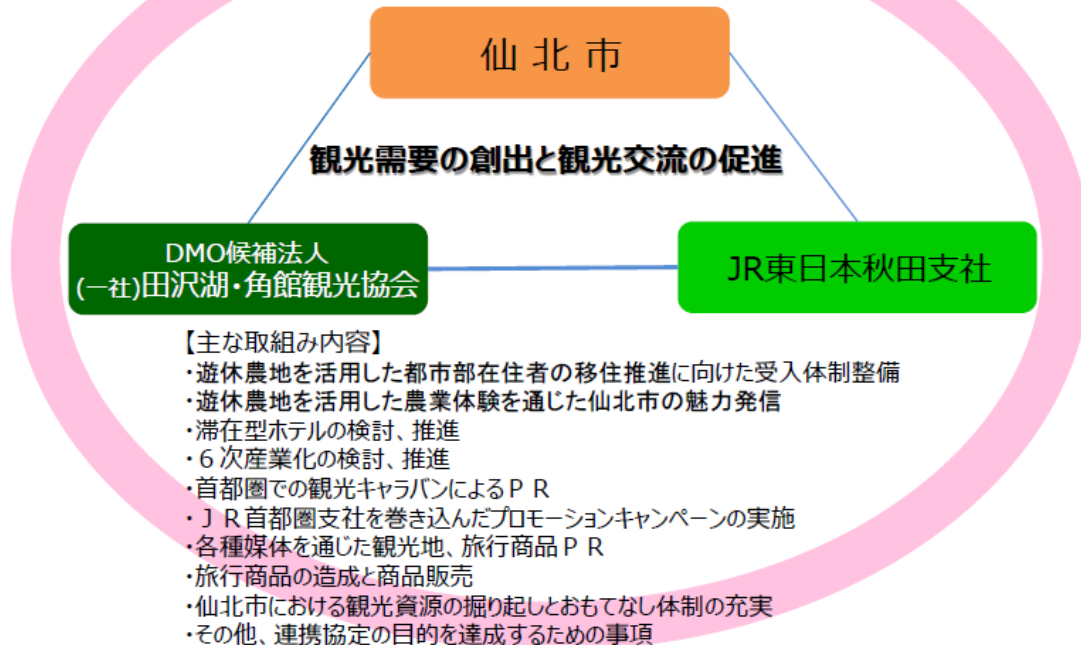
- ・2019年11月18日（月）10:00より開始します。
- ・ご予約はインターネット予約サイトおよび電話にて受付します。
- ・公式ホームページ <https://familio-folkloro.com/wa-no-i/kakunodate/>
- ・TEL 0187-53-2774
- ・本ホテルは「JRホテルメンバーズ」の加入ホテルとなり、会員特典を受けられます。

■ 3 者連携スキーム

（2019年5月7日 連携協定プレスリリース資料から再掲）

仙北市、DMO候補法人(一社)田沢湖・角館観光協会、 JR東日本秋田支社の「観光まちづくり」連携イメージ

デスティネーションキャンペーンなど、これまでの観光連携の取り組みを強化



【連携協定に関するお問い合わせ】

仙北市 観光商工部観光課	TEL:0187-43-3352
DMO 候補法人(一社)田沢湖・角館観光協会	TEL:0187-42-8280
JR東日本秋田支社 総務部総務課広報G	TEL:018-832-2220

【宿泊施設に関するお問い合わせ】

JR東日本秋田支社 総務部総務課広報G	TEL:018-832-2220
---------------------	------------------

参考資料

JR 東日本グループの新しいホテルブランド「和のゐ」について

JR 東日本グループは、「生活サービス事業成長ビジョン(NEXT10)」に基づき、地域活性化や駅を中心とした街づくりに取り組んでおります。その一環として、古民家などの歴史ある建築物を活用したホテルを、新ブランド「和のゐ」とし、その第一弾として秋田県仙北市の角館エリアに、2020 年 3 月 16 日に開業します。

この事業を通じて、旅行需要の喚起とインバウンド獲得強化により、角館エリアのさらなる発展を目指すとともに、JR 東日本グループのホテル事業の価値向上も図ってまいります。

■ブランドコンセプト

**古き良き日本の文化と触れ合いながら、日常から解き放たれ、
真の豊かさを体感するホテル。**

歴史が息づく町並みや暮らしを未来へ繋げ、地域の新たな価値を創出するために、築 100 年を超える日本家屋をはじめ、歴史ある建築物を再生し、新たな息吹を注ぎ込んだ滞在型のホテルです。

先人の知恵が息づく伝統技法、自然の素材、様式美を極めた意匠など、受け継がれてきた日本の文化を守りながら、心地よい居住性と機能性も備えます。

ただ泊まるのではなく、その町の歴史、文化、暮らしをさまざまに体験でき、すべてが特別で忘れられないひとときに。

それは、日常の喧騒から解き放たれ、古き良き日本にタイムスリップしたかのような感覚。

訪れるすべての人に、時代を超越する真の豊かさをもたらします。

■ブランド名称・ロゴ

【ブランド名称】

和のゐ

「歴史ある日本の文化・暮らしを体験する宿」を意味し、暮らしを表す「居」を日本古来の文字である変体仮名の「ゐ」を用いることで、歴史性を表現しています。

【ロゴ】



和のゐ

※商標出願中

■ J R 東日本グループホテル一覧（2019 年 11 月 14 日時点）

ホテル一覧 (ブランド別)	ホテル数 (施設数)	客室数 (室)	特徴
東京ステーションホテル	1	150	100 年以上の歴史を継承する東京駅丸の内駅舎内のホテル
メトロポリタンホテルズ	12	3,471	充実の機能と洗練されたサービスを提供するシティホテル
J R 東日本ホテルメッツ	27	3,442	駅の近くの宿泊特化型ホテル
ホテル ファミリーオ	3	91	大自然の中でゆったり過ごす自然志向のホテル
ホテル フォルクローロ	5	253	駅、または駅の周辺を拠点にする行動的な旅にぴったりのホテル
ホテルドリームゲート舞浜	2	160	アーバンリゾートホテル
合計	50	7,567	

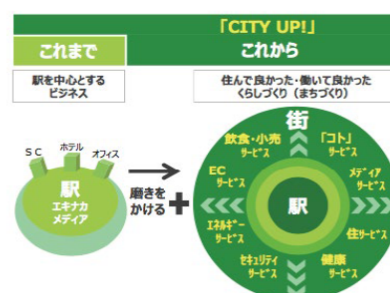
■ 今後の開業予定ホテル

今後の開業予定ホテル		室数	開業時期
国内	和のゐ 角館	3	2020 年 3 月 16 日
	J R 東日本ホテルメッツ 五反田（仮称）	166	2020 年春
	ホテルメトロポリタン 鎌倉	138	2020 年 4 月 24 日
	メズム東京、オートグラフ コレクション	265	2020 年 4 月 27 日
	ホテルメトロポリタン 川崎	304	2020 年 5 月 18 日
	J R 東日本ホテルメッツ 横浜	170	2020 年内
	J R 東日本ホテルメッツ 桜木町（仮称）	274	2020 年内
	ホテルメトロポリタン 山形（増築）	108	2020 年内
	ホテルメトロポリタン 秋田（増築）	130	2021 年春
海外	ホテルメトロポリタン プレミア 台北（予定）	288	2021 年初
合計		1,846	

※「和のゐ 角館」は「JR ホテルメンバーズ」の加入ホテルとなり、会員特典を受けられます。

生活サービス事業成長ビジョン（NEXT10）とは

JR 東日本グループが会社発足から 30 年が経過した 2017 年に、今後 10 年を見据えて策定した生活サービス事業の成長ビジョンです。
「CITY UP!」をスローガンに、これまでの「駅を中心とするビジネス」に磨きをかけて、「くらしづくり（まちづくり）」に挑戦します。長期成長の実現に向けた**「4 本の柱」**として、市中や当社エリア外への事業領域の拡大やオープンイノベーションなどに取り組む**「のびる」**、駅を中心とした魅力あるまちづくりを進める**「ひらく」**、地域の活性化や地域間交流の促進を図る**「つなぐ」**、既存事業の価値を高める**「みがく」**を設定し、駅の個性に磨きをかけるとともに街の魅力向上に努めます。



* 最新情報や取組みの詳細はこちらをご覧ください *

生活サービス事業成長ビジョン（NEXT10）PR サイト <http://cityup.jp/>